

NO. 60-3

鋼橋技術研究会  
示方書研究部会  
施工基準研究分科会

昭和60年度報告書

## 1. 研究活動概要

示方書研究部会施工基準研究分科会では道路橋示方書をはじめとする基準類の施工に関する条文の解釈や根拠のあいまいな部分の検討および技術・施工法の変化による条文の改廃追加などを検討することを目的としている。

本年度は7回の分科会を開催し、道路橋示方書法書第15章「施工」の各規定の根拠について調査し、疑問点を明らかにするとともに、改善の方法も検討した。その結果、下記の項目を重点的に検討することとした。また、それに関連して、

(i) 仮付溶接長を再検討するための溶接割れ試験および(ii)現場継手部のボルト、ドリフトピンの仮組時の本数およびすきま精度についての実態調査を行なうことにした。

### 重点研究項目

- (1) 溶接
  - a) 仮付サイズ
  - b) 予熱
  - c) 溶材
  - d) 検査
  - e) ビード仕上げ
  - f) エンドタブの材質
- (2) 仮組
  - a) ボルト及びドリフトピンの%
  - b) 仮組立の組方、精度
  - c) オーバーサイズ孔